

庁内フードドライブを実施

日本では、1年間に約570万トンの食品ロスが発生していると推計※されており、食品ロスの発生量を国民一人当たりで換算すると“お茶碗約1杯分（約124g）の食べもの”が毎日捨てられていることとなります。

府では、食品ロスに対する意識を高め、削減に係る取組を推進するため、10月の「食品ロス削減月間」を中心に事業者と連携した一斉啓発を行っています。令和3年度は府庁における率先的取組として、職員を対象としたフードドライブを3日間実施し、家庭で眠っている未利用食品（買いすぎた食品やお歳暮等の贈答品等）を回収しました。

実施の結果、約160点（約45kg）の食品が集まり、集まった食品は府内のフードバンク団体へ寄付しました。

フードドライブは、京都市、長岡京市、京田辺市、精華町等の府内市町村においても実施され、府域全体に取組が広まっており、京都府としても未利用食品の有効活用のためにフードドライブの実施を推進していきます。

※農林水産省及び環境省「令和元年度推計」

■フードドライブとは？

家庭にある買いすぎた食品、お中元やお歳暮でもらった使い切れない食品を集荷地点に持っていき寄付する活動。

集まった食品は、直接又はフードバンク団体等を通して、必要とする方々に届けられます。



▼庁内フードドライブの様子



▼集まった食品



また、フードドライブの実施と合わせ、食品の期限表示（賞味期限と消費期限の違い）に係る啓発動画を作成し、府内の主要な駅構内等のデジタルサイネージや府のTwitterやYouTube等を通して啓発を行いました。

啓発動画 ▶

